平成２４年度学校経営計画表

【別紙様式１】

１　学校の現況

学校番号	２９	学校名	茨城県立海洋高等学校		課程	全日制				学校長名	加藤　逸男						
教頭名	清水　信昭									事務（室）長名	長戸　義徳						
教職員数	教諭	３１	養護教諭	１	常勤講師	６	非常勤講師	３	実習教諭，実習講師，実習助手	１１	事務職員	７	技術職員等	３０	計	９２	

	小学科	１年		２年		３年		４年		合計		合計クラス数
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
生徒数	海洋技術科	２９	０	２７	３	１７	０			７３	３	３
	海洋食品科	２１	１４	２３	１５	１６	９			６０	３８	３
	海洋情報科					１５	４			１５	４	１
	海洋工学科	３４	６	３０	３	３１	４			９５	１３	３
	専攻科遠洋漁業科	５	０	５	１					１０	１	２
	専攻科機関科	４	０	７	０					１１	０	２

２　目指す学校像

教育基本法及び本県教育の目標の示すところにより，豊かな人間性と人格の完成を目指し，社会の発展に貢献し得る，心身ともに健全な海洋技術者を育成する。

３　現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項　　目	現　状　分　析	課　　題
学習指導	目的意識を持って学習活動をする生徒がいる反面，学習習慣が身に付いていない生徒が見受けられる。	生徒の主体的な自己教育力をいかに育成するか。
生徒指導	規範意識を持ち高校生活を送っている生徒もいるが，基本的生活習慣の確立が必要な生徒も見受けられる。	生徒の基本的な生活習慣を確立させるための日頃の指導は，いかにあるべきか。
進路指導	明確な将来像を持った生徒が多い中，進路を主体的に選択する能力が身に付いていない生徒も見受けられる。	望ましい勤労観・職業観を身に付けさせるにはどのようにしたらよいか。
特別活動	学校行事への参加は，その態度を含めてよく行われている。生徒会活動の一部である部活動は，徐々に活発化している。	より多くの生徒の参加による部活動や自立的な集団活動を行わせるにはどうすべきか。

4　中期的目標

１　水産業並びに海洋開発に従事するスペシャリストを養成するための教育課程の編成を工夫し，生徒が主体的・意欲的に学習し，社会人として役に立つ人間力を育成する学校をめざす。
２　道徳教育を積極的に取り入れ，生徒の規範意識や社会性の育成を図り，予防的な生徒指導を実現する。
３　大学進学希望や就職希望など，生徒の多様な進路希望に応じ，個人面接や進路ガイダンスなどを行い，きめ細かな進路指導の充実を図る。
４　集団生活を通して，生き生きとした人間関係を築き，体育祭・海洋祭（隔年実施）やクラスマッチなどを生徒自らが計画・実行できるよう学校行事の内容の充実を図る。
５　地域との連携を図り，海洋教育の大切さを積極的にＰＲする。

5　本年度の重点目標

重　点　項　目	重　点　目　標
人間力を育成する学校をめざす。	①基本的な生活習慣育成に努め，きめ細かな学習指導や進路指導の実施を推進し，原級留置者や退学者を減少させるとともに，生徒の幅広い進路選択を可能にする。
予防的な生徒指導を実現する。	②道徳教育活動を推進し，ボランティア活動やＨＲ単位での活動を通して明るく節度ある生活態度を身に付けさせる。また校内巡視などによる積極的な声かけ活動を実施することにより，特別指導件数を減少させる。
地域との連携を図り，海洋教育の大切さを積極的にＰＲする。	③本校の特色を活かした企業実習を実施し，近隣小中学校との連携や水産試験場・県水族館アクアワールド大洗との連携，県内各漁業関係者との連携など，地域との連携及びキャリア教育を積極的に進める。